

東中だより



No. 2

文責：高橋 泰

こんな学校にしたい！ ～平成29年度前期生徒会がめざすもの～

4月11日(火)、生徒集会を行いました。そこで、前期生徒会から今年度のスローガンや方針の発表がありました。生徒会からのメッセージを紹介します。

前期生徒会のスローガンは、前年度後期の『東中ハート』から新しく『東中サークル』とします。『東中サークル』には「丸」「輪」「和」「仲間」の4つの意味を込めます。

「丸」・・・正しく判断、正しい行動（○は正解の○）

「輪」・・・東中の発展（タイヤのように転がって進むように）

「和」・・・みんな仲良く平和な学校

「仲間」・・・東中生全員で楽しく過ごせる学校

東中生全員が正しく判断、正しい行動をして、心の和む雰囲気、タイヤのように前に進み、全員で楽しむことのできる東中生を目指していきましょう。

東中学校は今年で71年目を迎えます。新たな歴史の幕明けとなる東中学校で、先輩から受け継がれて当たり前となっている「みそあじ」そして校訓「自修」を、当たり前以上に実践していきましょう。そうすることで、必ず自分が磨かれると思います。

また、生徒議会を活発にし、各学級の意見を取り入れて活動していきます。東中生全員が一つになっていろいろなことに取り組んでいきましょう。どんなことにも全力で真剣に頑張るすばらしい東中学校を全員で作っていきましょう。



前期生徒会の皆さん

<会長>

麓 凱生 (3-1)

<役員>

坪山 蒼 (3-2)

後藤 ユリ (3-3)

林口 和磨 (3-4)

小島萌々果 (3-3)

祖父江莉子 (3-4)

仲野 花優 (3-5)

自転車点検 ご協力ありがとうございました ～保護者の方へ～

4月13日(木)、市内自転車商協同組合の方々のご協力で、全校一斉自転車点検を行いました。本校では遠方の生徒を対象に自転車通学を認めています。今年は、57名の該当者の中から55名の生徒が申請しました。日頃の通学以外で、部活動や実行委員としての活動の際に大半の生徒が自転車を利用します。道路交通法の改正により、自転車の責任は大きくなっており、自転車の整備不良について、警察の指導も強化されています。何より、子どもさんの命を守る上でも、危険のないよう自転車整備にご協力ください。また、近頃は、事故の場合の過失責任を自転車側に問われるようになってきました。いざという時のための保険についてもご配慮ください。

未だに自転車による並列走行や右側通行などの違反、走行マナーなど地域の方からご意見をいただくこともあります。そこで、4月18日(火)には、愛知県警「あゆみ隊」の方を招いて自転車安全利用講習会を行いました。その中で、自転車の安全な乗り方など確認しました。



転出・退職される先生方に感謝を込めて ～退任式～

4月13日(木)に退任式を行いました。今年は11名の先生が転出・退職されました。

学級や部活動でかかわりの大きかった生徒から花束とメッセージを送り、お別れをしました。また、先生方からは熱いメッセージをいただきました。2、3年生には、71年目のこれからの東中を背負って頑張るようエールが送られ、1年生には、上級生を見習いについていくよう言葉をいただきました。異動の先生が多く少し長くなりましたが、生徒たちの真剣な表情と姿勢を正した姿、時に流す涙がとても印象的でした。最後に、感謝の想いを込めて全校生徒で校歌を大合唱してお送りしました。



「今の東中生、本当にすごい！」そんなうわさを楽しみに 梶川梨理香(3-1)

先生、今までありがとうございました。

先生と出会った入学式の日、第一印象は「こわそうな先生だなあ。」でした。担任の先生なのに、これから1年やっていけるのだろうかという不安な気持ちもありました。しかし、先生はそんな印象とは正反対のとても温かい人でした。

先生はいつも、生徒一人一人を気にかけてくださいました。少しでも違う様子があると声をかけ、話を聞いてくれました。また、それぞれの良いところを引き出し、もっと伸ばそうとしてくださいました。先生がたくさんの生徒に愛されているのも、そんな思いやりにあふれているからだと思います。

私たちはこれまで、先生にたくさん支えてもらってきました。だからこそ、これからは重要なのではないかと思います。71年目という新たなスタートの年に私たちはさらに成長していきます。生徒会が必ず今までにない一番の東中をつくります。そして、私たちは全力でついていきます。「今の東中生、本当にすごい！」そんなうわさを楽しみに待っていてください。

最後になりましたが、先生と過ごした2年間は私たちの一生の宝物です。これからも、みんなに愛される先生でいてください。本当にありがとうございました。

校内で見つけた この一冊

第2図書室の書棚にあります



「蜜蜂と遠雷」

著者 恩田 陸

ピアノコンクールを舞台に、人間の才能と運命、そして音楽を描き切った青春群像小説です。2016年度の直木賞、そして本屋大賞を受賞した文句なしの超話題作です。

3年ごとに開催される芳ヶ江国際ピアノコンクール。「ここを制した者は世界最高峰のS国際ピアノコンクールで優勝する」ジンクスがある。それに挑戦する4人の主人公となるピアニスト。彼ら以外にも数多の天才たちが繰り広げる。競争という名の自らの闘い。第1次から3次予選、そして本選を勝ち抜き優勝するのは誰なのか？

音楽を文で表す表現力。紹介される数々の名曲。ピアノを愛する人、音楽を愛する人。必読の書です。